

特別講演 「九谷焼の技と心」

九谷焼作家 三代 浅蔵五十吉

磁器の素地に刻彫を施し、九谷五彩の釉薬を基本に、独自の色を編み出しながら、渋さと重厚で優雅さを感じさせる「彩磁彩」、「紺晶彩」釉で、現代的感情に訴える作品に取り組んでいらっしゃる三代浅蔵五十吉先生に、九谷焼の魅力、九谷焼の工程と、その中で苦勞されている技術や技、九谷焼を製作するにあたっての心持ちや目標とされていることについてお話していただきます。

1. 九谷焼の歴史
2. 九谷焼の工程
3. 九谷焼の魅力
4. 二代 浅蔵五十吉の作品
5. 三代 浅蔵五十吉の作品



三代 浅蔵五十吉氏

<三代 浅蔵五十吉氏の略歴>

- 1941年 小松市に生まれる。
 - 1961年 日展 初入選。以来、連続入選
 - 1972年 日展「対話ノ夢」 特選受賞
石川県現代美術展最高賞受賞
 - 1980年 日本現代工芸美術展会員賞受賞
 - 1986年 日展<「暁ニ映エル」飾壺>特選受賞
 - 1998年 小松市文化賞受賞
 - 1999年 日本現代工芸美術展文部大臣賞受賞
三代浅蔵五十吉襲名
 - 2002年 石川県文化功労賞受賞
 - 2006年 経済産業功労賞 大臣表彰
 - 2010年 石川県無形文化財九谷焼技術保存会会員に認定
- 現在 日展評議員 石川県美術文化協会理事 金沢学院大学名誉教授